

GMO フィナンシャルHD

2017年12月期第2四半期

決算説明会

STOCK CODE:7177

代表執行役社長 グループCEO 鬼頭 弘 泰
常務執行役 グループCFO 山 本 樹

2017年10月25日

■ 決算概要

中長期目標と事業概況

Appendix

決算サマリー

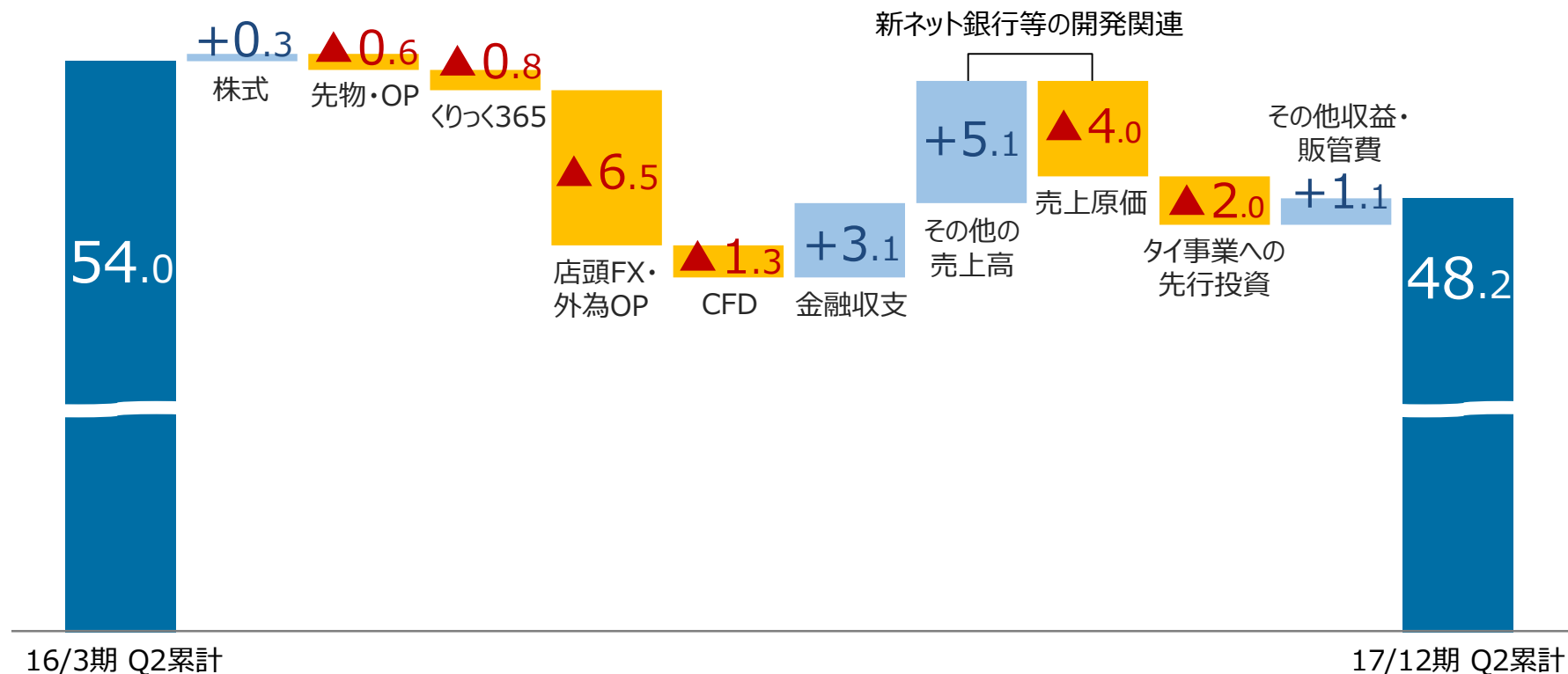
相場影響によるFX収益の減少により、収益・利益とも前年同期比でやや減少

(億円)	2017年3月期 Q2(4-9月)	2017年12月期 Q2(4-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	138.4	138.3	-0.1	-0.1%
営業利益	54.0	48.2	-5.7	-10.7%
経常利益	53.6	47.2	-6.3	-11.9%
最終利益	37.1	36.6	-0.4	-1.3%

営業利益増減要因

利益率の高いFX収益の減少により減益

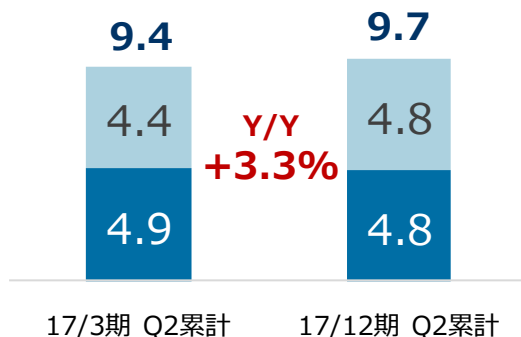
(億円)



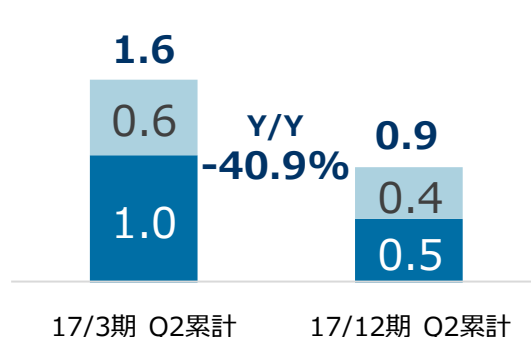
営業収益内訳（商品別）

(億円)

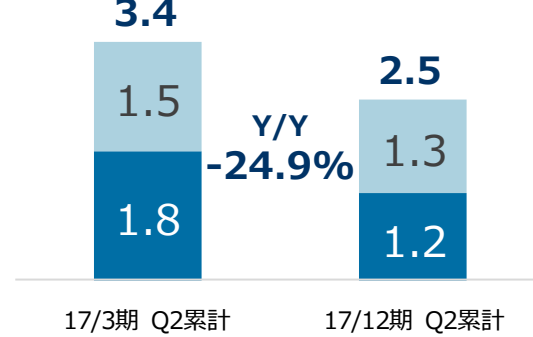
株式・ETF等※



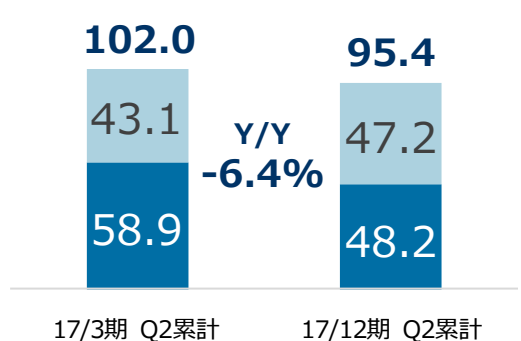
先物・オプション



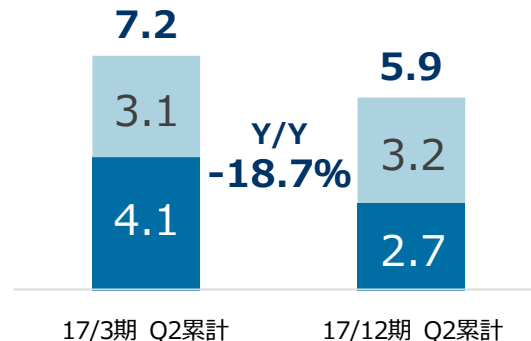
くりっく365（取引所FX）



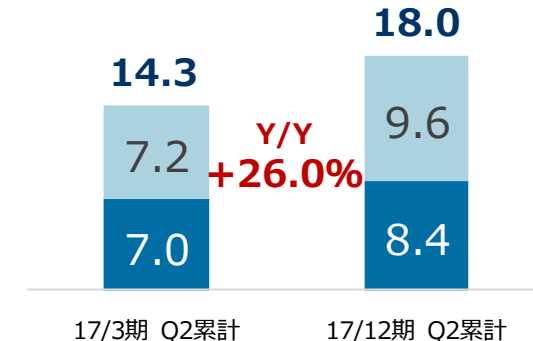
店頭FX・外為OP



CFD



金融収益

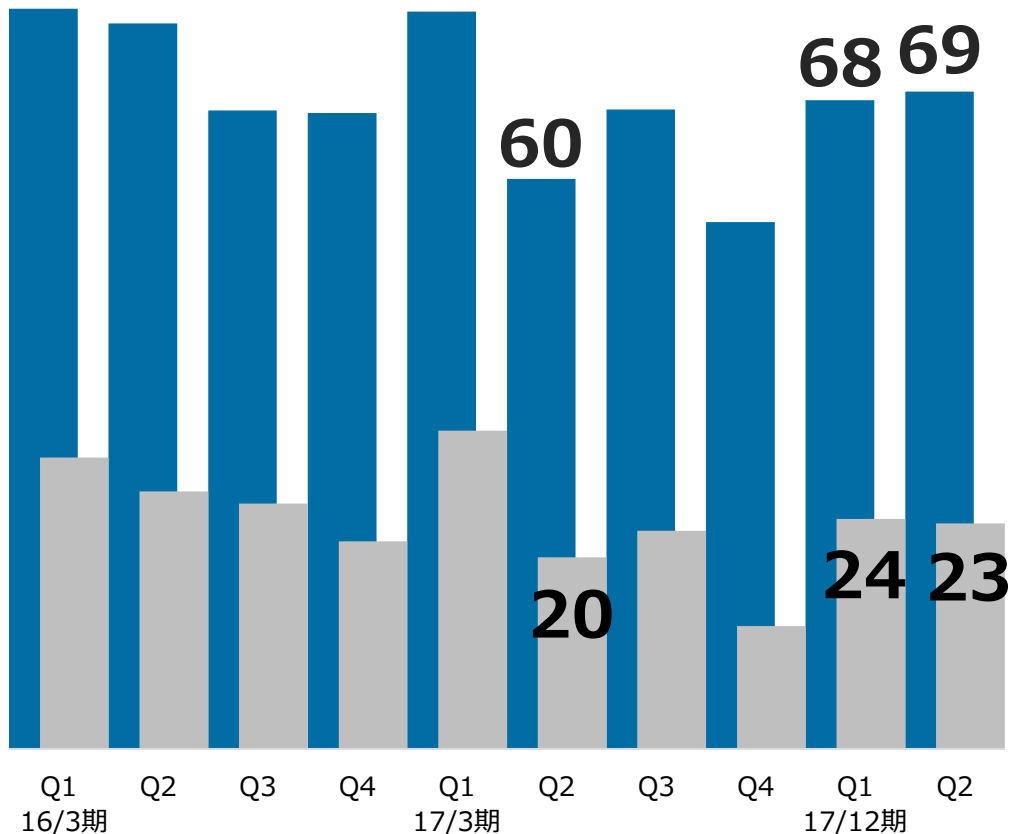


※株式・maneo・投資信託の取引から得られる受入手数料

四半期業績推移 | 営業収益・営業利益

(億円)

■ 営業収益 ■ 営業利益

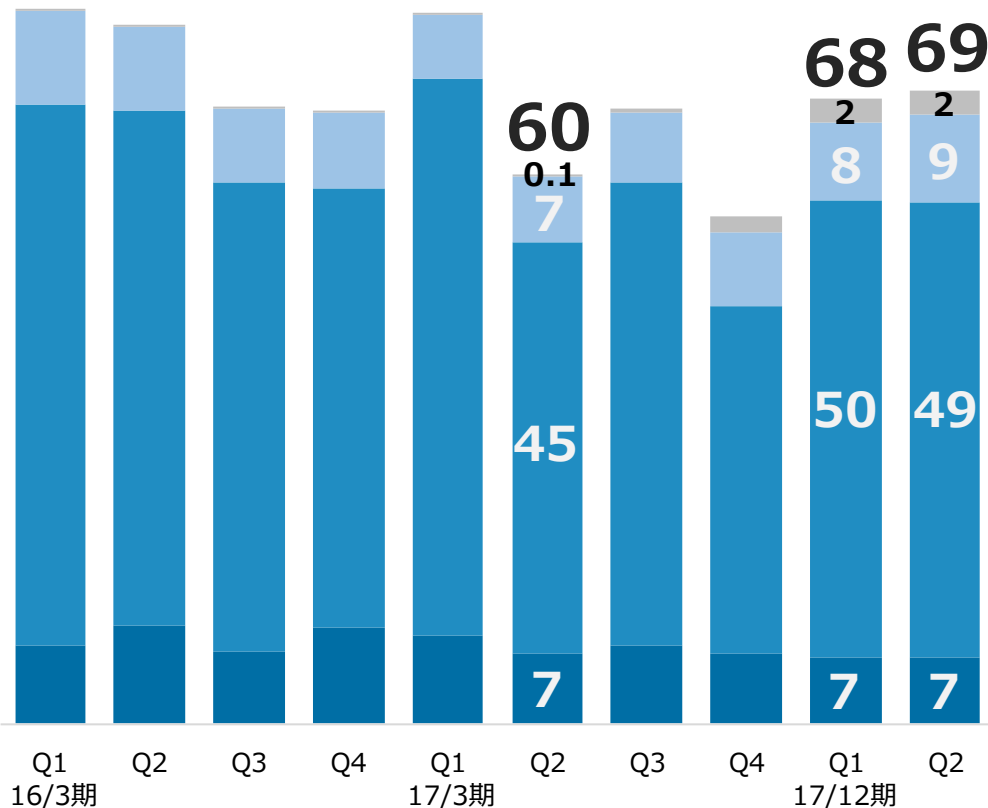


Q/Q
前Qと同水準

四半期業績推移 | 営業収益の内訳

(億円)

■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他

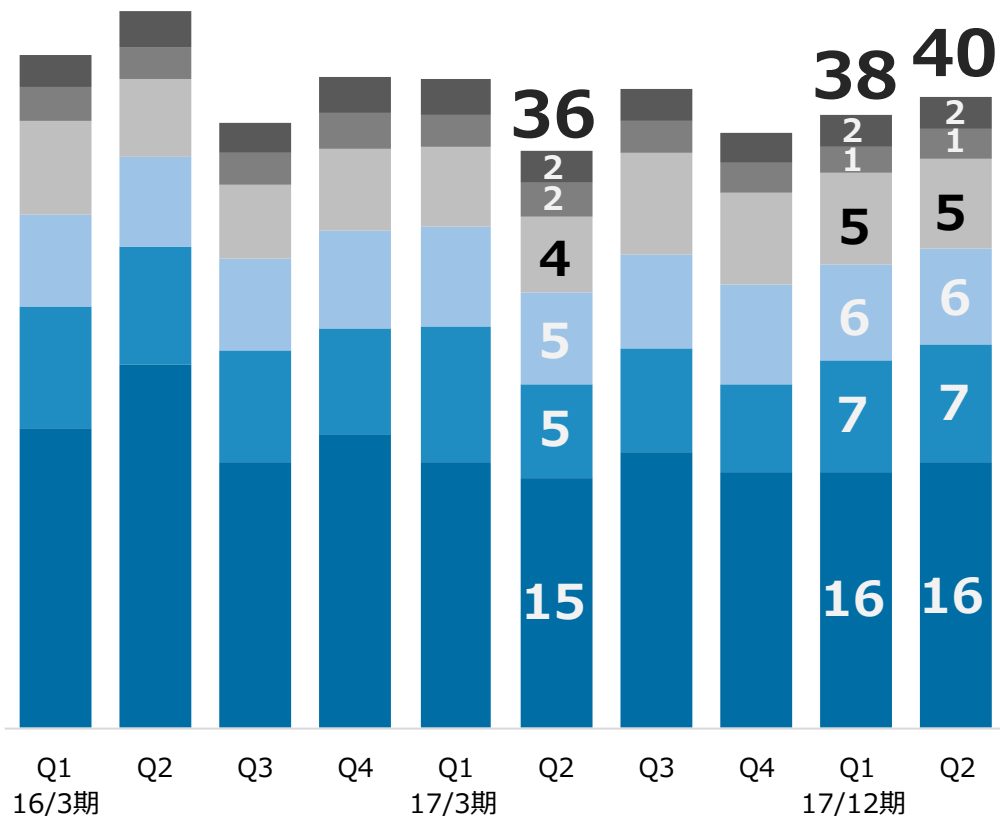


Q/Q
TR損益横ばい

販管費の四半期推移

(億円)

■ 取引関係費 ■ 人件費 ■ 不動産関係費 ■ 事務費 ■ 減価償却費 ■ その他



Q/Q
3.0%増

今後の費用見通し：40億円前後

目標

連結配当性向

50% (年4回配当)

1株当たり 配当金	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
2017年 12月期	6.90円	8.50円	-	-	-
2017年 3月期	9.70円	6.15円	6.68円	3.64円	26.17円

決算概要

■ 中長期目標と事業概況

Appendix

方針

強いものをより強くする

国内
事業

- 国内店頭FX取引高シェア & 収益拡大
- CFDを新たな収益の柱に
- 株式売買代金第3位の達成

海外
事業

- 黒字定着し攻めの体制

新規
事業

- 新たな金融商品・事業の展開

FX

取引高
(2017年7-9月)

261兆円

前年同期**314**兆円

取引高シェア
(2017年7-9月)

24.1%

前年同期**27.7**%

預り証拠金残高
(2017年9月末)

1,576億円

前年同月末**1,338**億円

株

売買代金
(2017年7-9月)

5.1兆円

前年同期**5.6**兆円

売買代金シェア
(2017年7-9月)

7.4%

前年同期**9.0**%

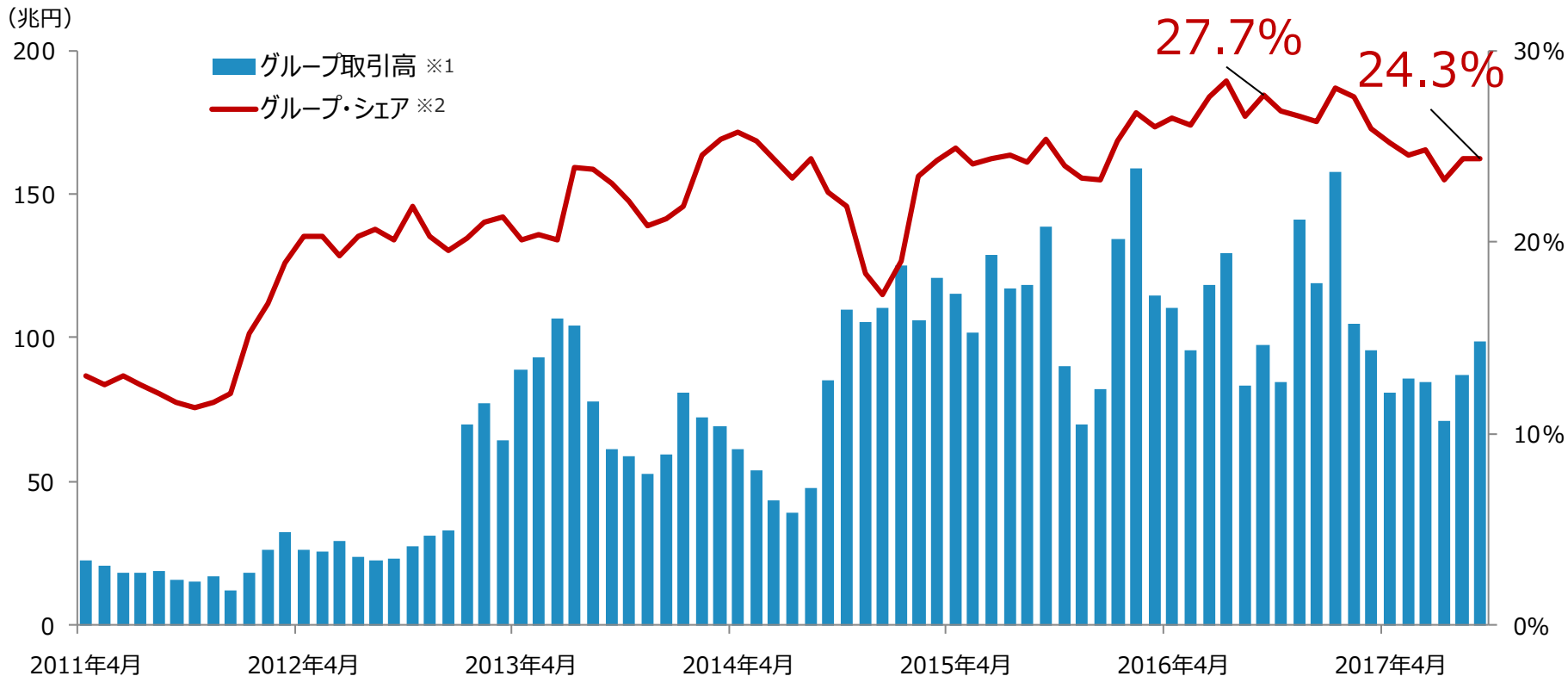
信用取引残高
(2017年9月末)

1,203億円

前年同月末**934**億円

FX取引高シェア、株式売買代金シェアは金融先物取引業協会、日本取引所グループ公表資料より当社作成
※FX(店頭FX)のデータは、GMOクリック証券及びFXプライムbyGMOの合計値
※株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

シェアは25%程度で推移

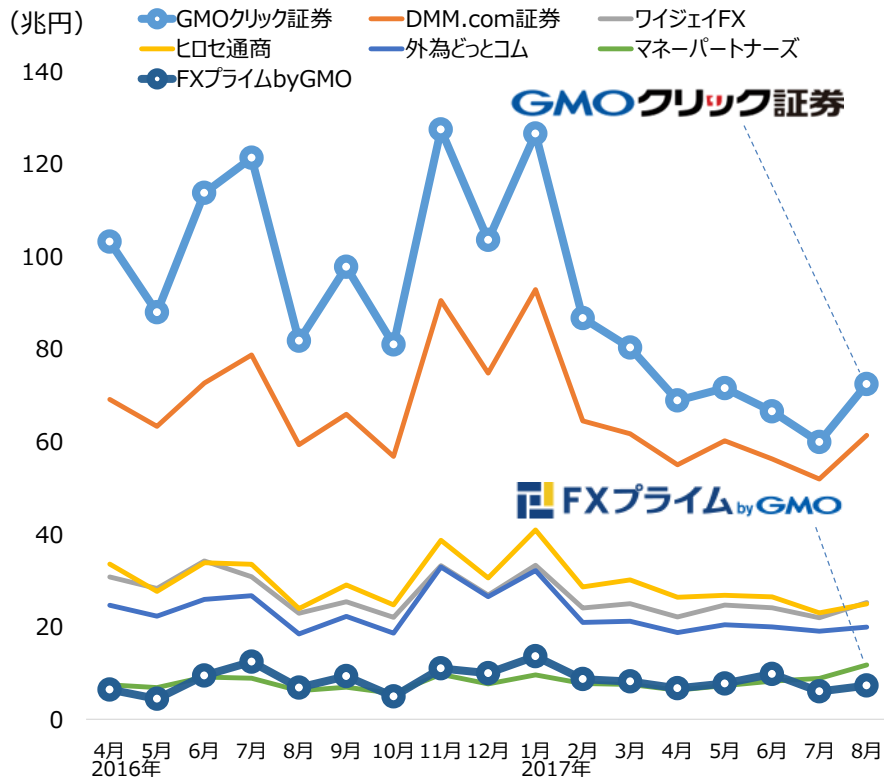


当社データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

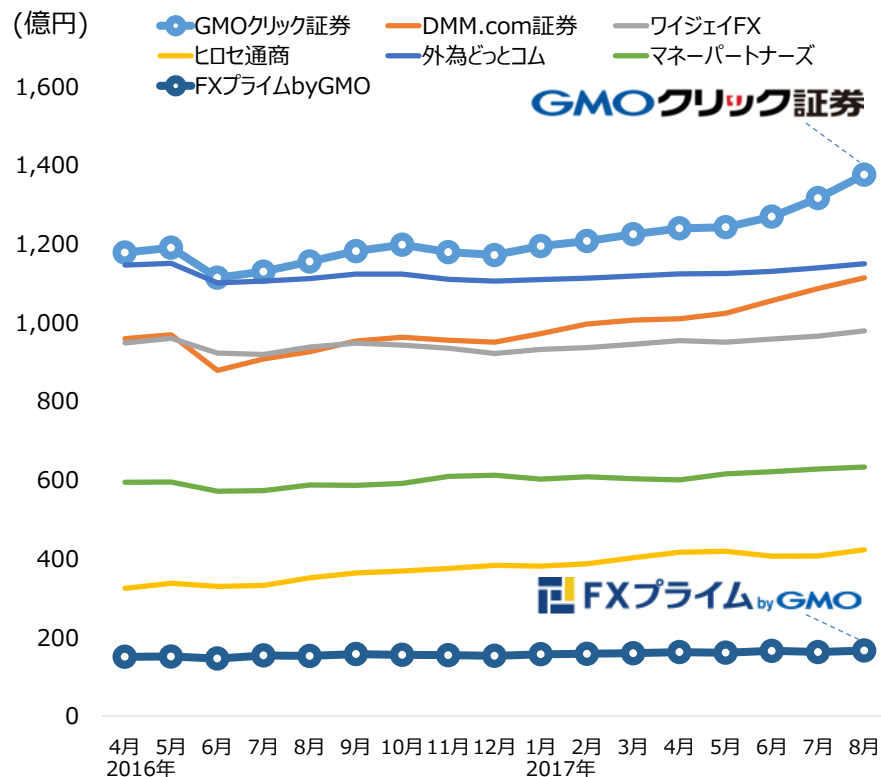
※1 2015年2月以前の店頭FX取引高はGMOクリック証券単体数値。2015年3月以降は、GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合計値

※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として算出

店頭FX取引高



店頭FX預り証拠金残高



矢野経済研究所月次調査有力FX企業月間データランキング(2016年4月~2017年8月)より当社作成
 ※取引高は百万通貨は1億円として換算

ビッグデータ解析の活用について

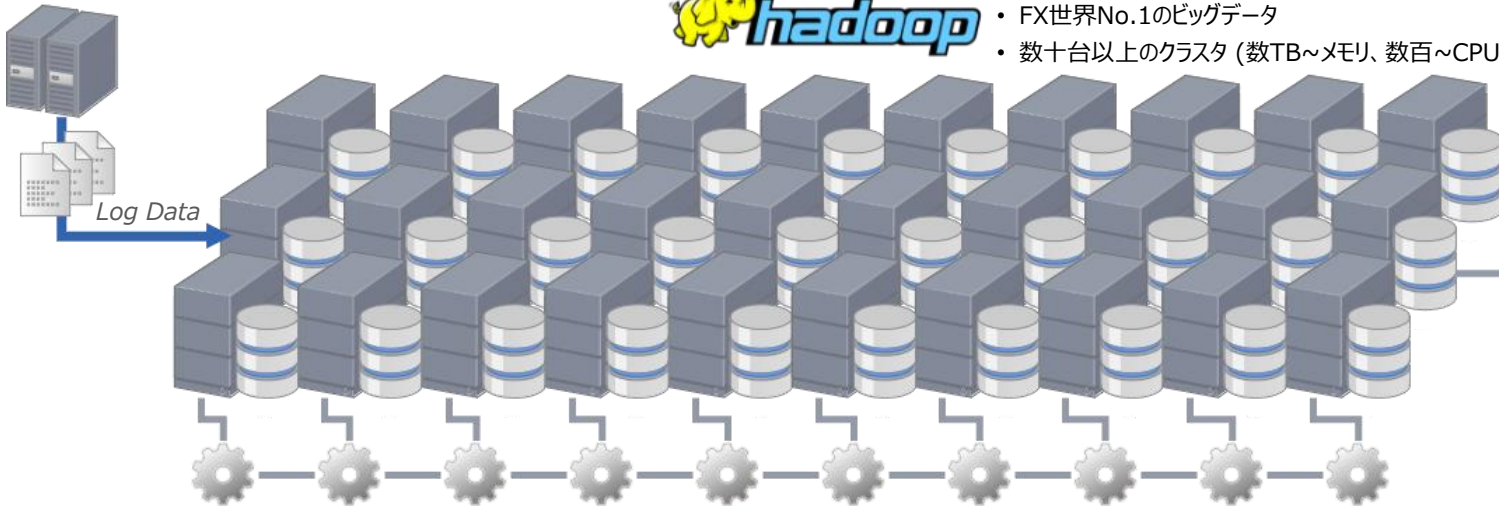
店頭FX | ビッグデータ解析の活用 (1/3)

Application Server



ビッグデータ解析基盤

- FX世界No.1のビッグデータ
- 数十台以上のクラスタ (数TB~メモリ、数百~CPU)



ポイント

- スピード開発&解析：
データサイエンティストが、
エンジニア兼任
- 低コスト：
ほぼ全てオープンソースで内製
- ビッグデータ解析：
大規模分散処理で解析
- 最先端：
最新のものを積極的に利用
- セキュリティ要件：
認証・認可・監査クリア

関わるデータサイエンティスト
6名 (博士 4名)



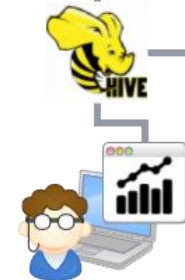
Batch Server



Data Scientist

ビッグデータ × 解析

- PySpark (Python + Spark)
で解析エンジン開発



Data Scientist

ビッグデータ × BI

- Tableau
- Hiveでビッグデータに
SQLライクにアクセス

Data Scientist



アドホック × Python解析

- Jupyter Notebookでプロ
グラミング、すぐにグラフ化
- 人気の解析パッケージ群の
PyData (numpy, scipy,
pandas...) をフル活用
- PyhiveでビッグデータにSQL
ライクにアクセス

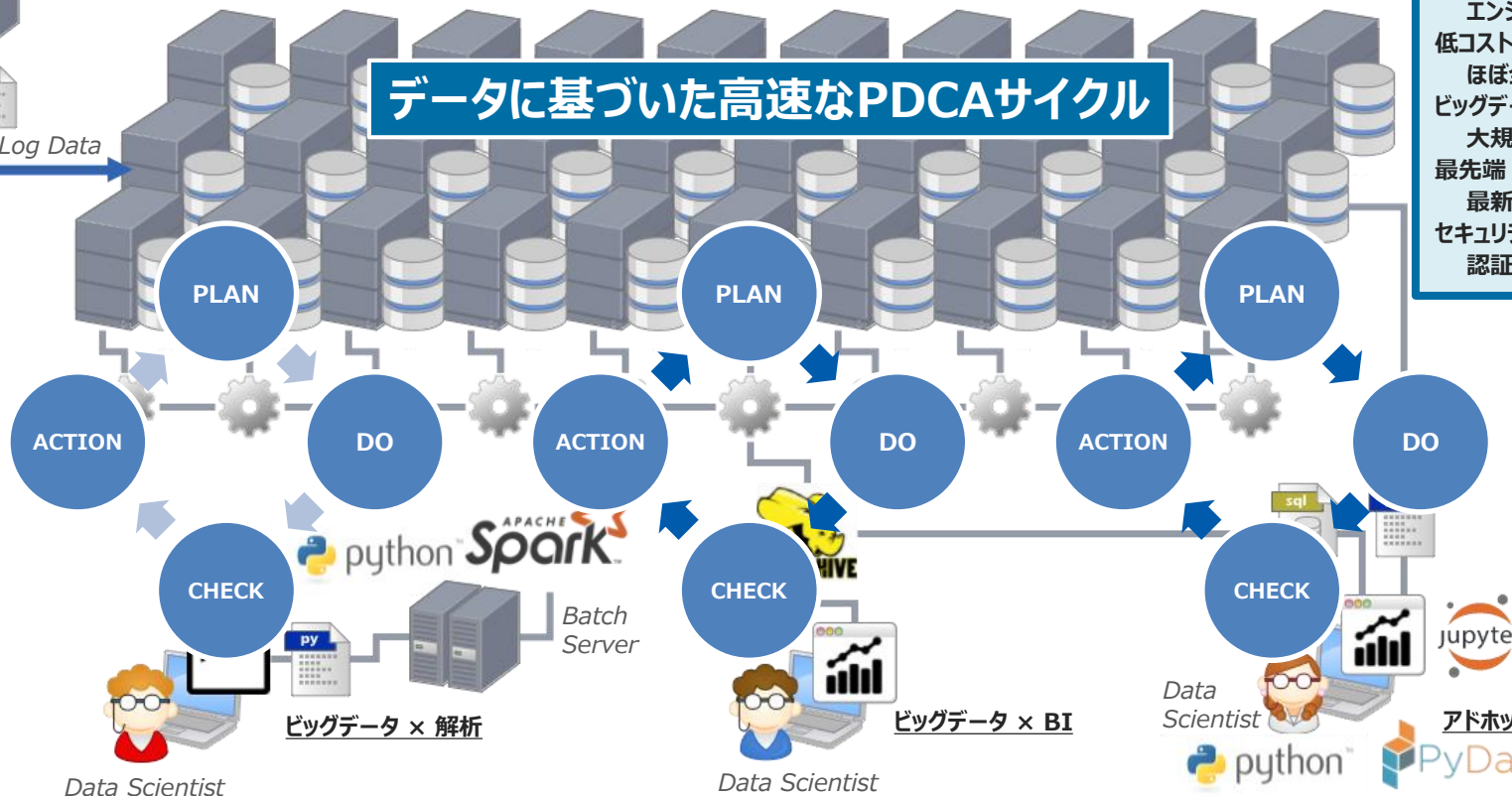


店頭FX | ビッグデータ解析の活用 (2/3)

Application Server

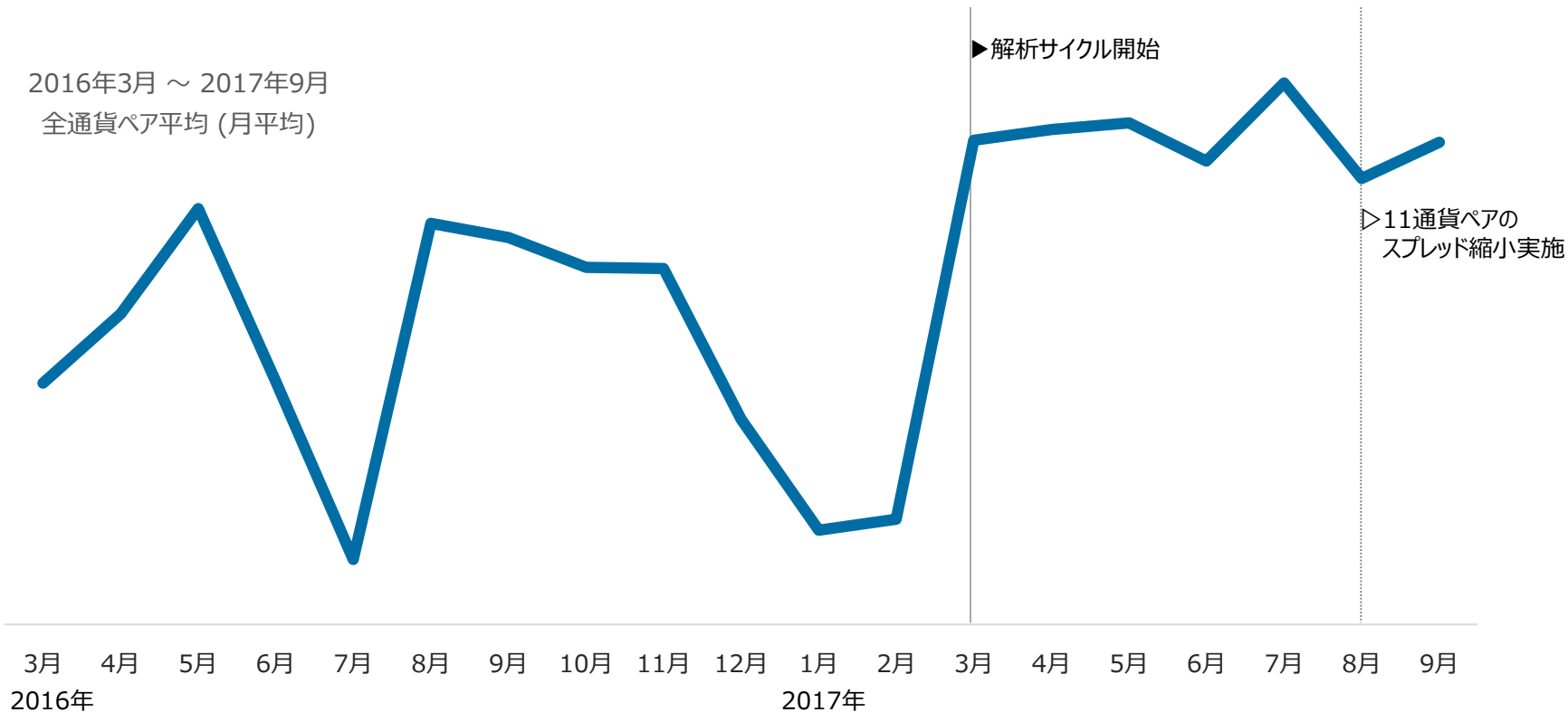


データに基づいた高速なPDCAサイクル

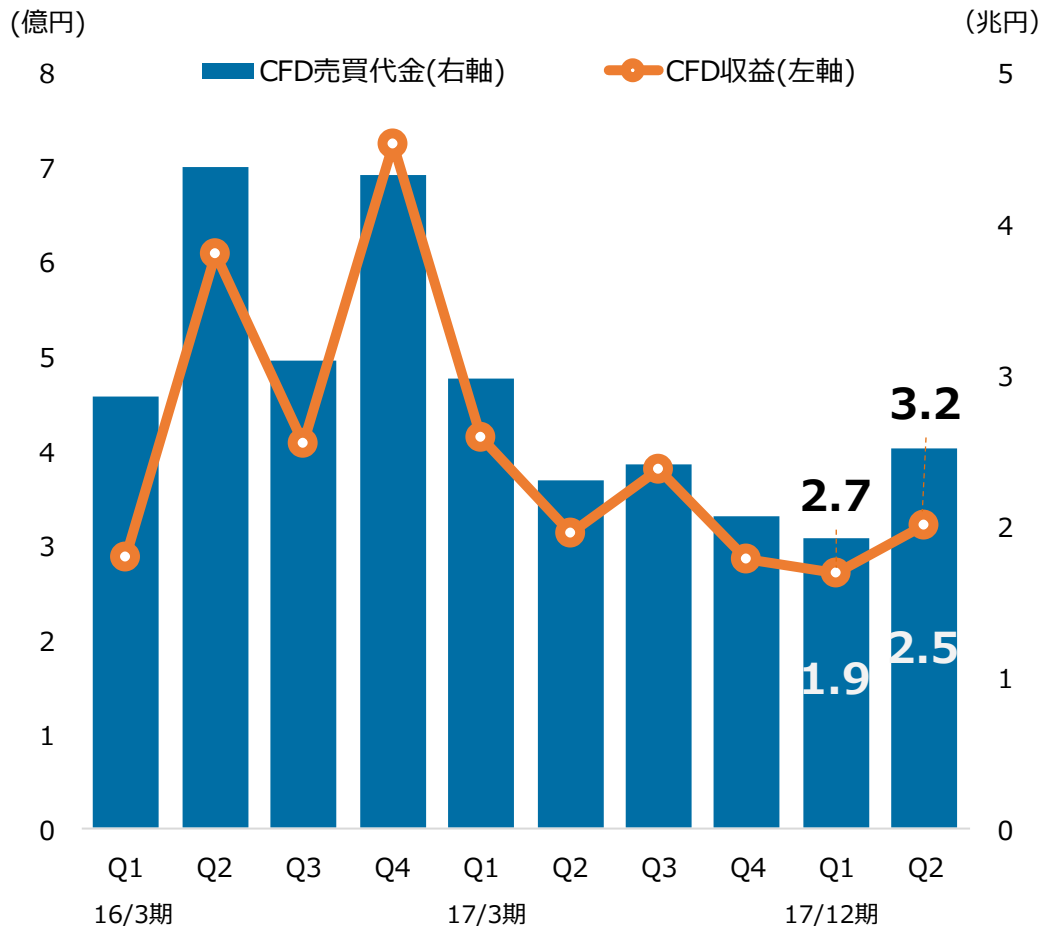


ポイント
スピード開発&解析：
データサイエンティストが、
エンジニア兼任
低コスト：
ほぼ全てオープンソースで内製
ビッグデータ解析：
大規模分散処理で解析
最先端：
最新のものを積極的に利用
セキュリティ要件：
認証・認可・監査クリア

ビッグデータ解析開始以降、スプレッド収益率^{*}は改善傾向で推移



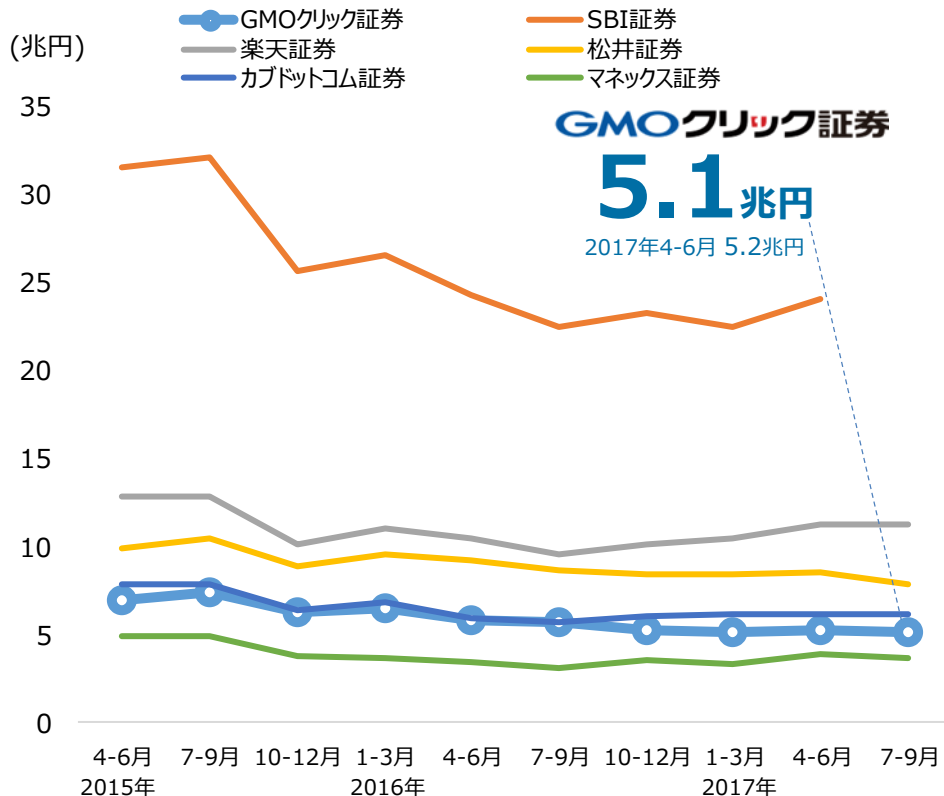
^{*}スプレッドに対しどれくらいの比率で収益が出ているかを示す指標。スプレッド0.3に対して収益が0.15であれば、スプレッド収益率は50%



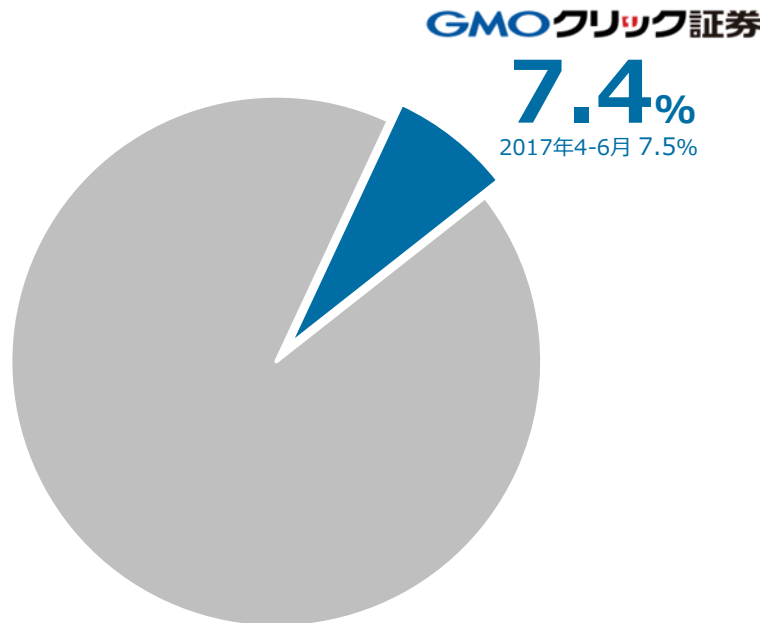
Q/Q
売買代金増加
 CFDのカバー最適化に着手

※売買代金はGMOクリック証券の数値を参考として記載
 ※収益には一部海外子会社の店頭FXに係る収益が含まれる

主要ネット証券株式等売買代金推移

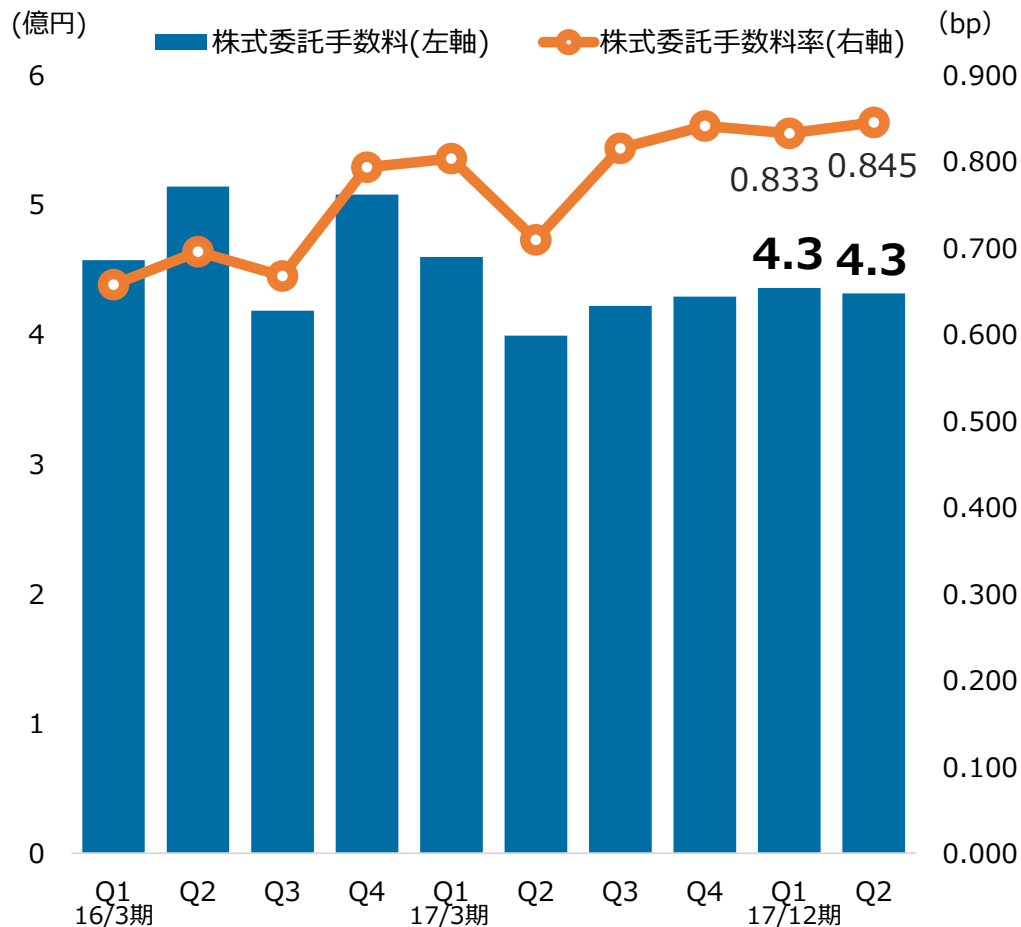


2市場占める 個人株式等委託売買代金シェア (2017年7-9月)



日本取引所グループ、各社公表資料より当社作成
※株式売買代金シェアは、2市場の株式等個人委託売買代金(ETF・REIT含む)に占めるシェア

株式 | 株式委託手数料・委託手数料率の推移



Q/Q
1.0%減収



Z.com Securities

タイ王国でのネット証券事業は、
2017年11月に開始予定



持分法適用関連会社であったGMOコインを連結子会社化
また、2017年9月29日に仮想通貨交換業者として登録

GMOコイン

議決権所有割合

35% → 58.3%

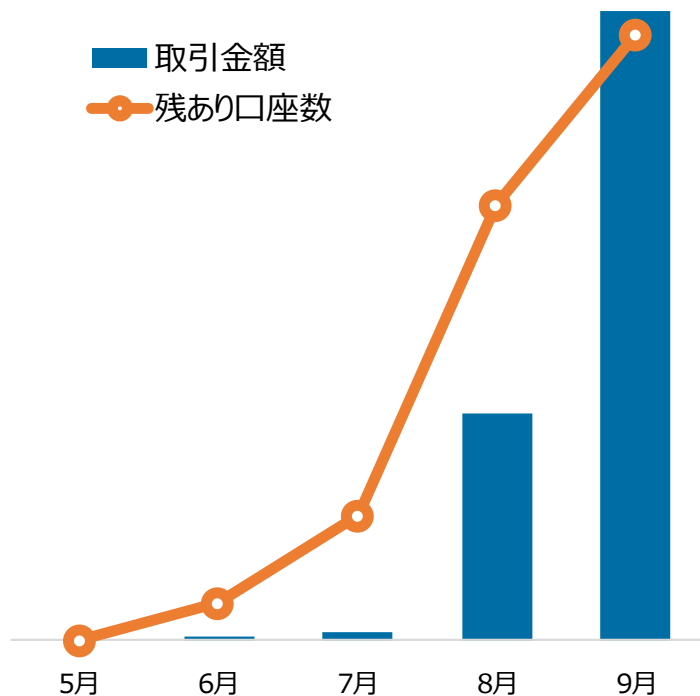
GMOコインの株式追加取得に伴い、
特別利益（段階取得に係る差益）4.8億円計上
のれん8.1億円が発生（5年均等償却）

店頭FXで培った
ノウハウを活用し
成長加速



2017年5月31日に正式サービス開始。口座数、取引金額ともに順調に拡大

主要KPIの推移



今後の展望

● 取扱通貨とサービスの拡充

現在

ビットコイン
イーサリアム
ビットコインキャッシュ

10月(予定)

ライトコイン

11月(予定)

リップル

12月(予定)

イーサリアムクラシック

- アルトコインのレバレッジ取引を提供予定
- GMOインターネットが展開するマイニング事業と連携することも視野（時期未定）

GMOインターネットグループとあおぞら銀行グループのインターネット銀行の新社名と事業開始時期が決定※

新社名

(変更日：2018年6月予定)

GMOあおぞらネット銀行株式会社

(現あおぞら信託銀行株式会社)

開業時期

2018年7月(予定)

※当局認可を前提にあおぞら信託銀行の2017年10月19日開催の臨時株主総会にて社名変更が決議。同日開催の同社取締役会において事業開始時期が決定

決算概要

中長期目標と事業概況

■ Appendix

営業収益（商品別）の四半期推移

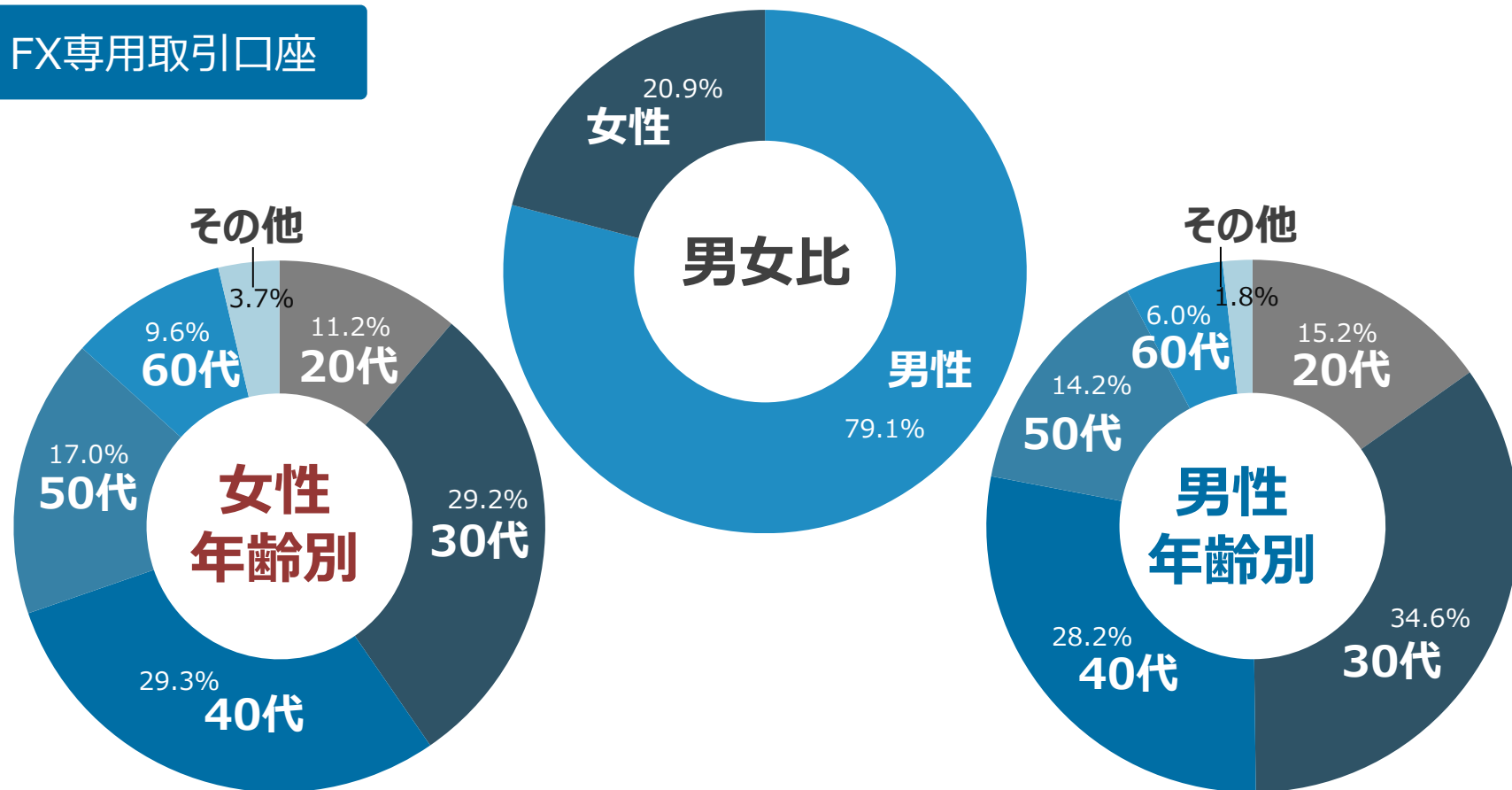
(単位：百万円)	17/3期				通期	17/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2
株式・ETF等	496	445	465	480	1,887	484	487
（株式・ETF等委託手数料）	459	399	422	429	1,710	435	431
先物・オプション	101	63	61	55	281	54	42
くりっく365	183	159	198	155	696	126	131
通貨関連店頭デリバティブ	5,893	4,310	4,824	3,615	18,643	4,823	4,725
CFD	415	313	380	284	1,393	270	322
金融収益	706	724	765	814	3,011	841	961
その他	11	19	75	173	281	270	288
営業収益	7,808	6,036	6,771	5,580	26,196	6,871	6,959

※ 株式・ETF等には、株式・maneo・投資信託の取引から得られる受入手数料が含まれる
 ※ CFDには、一部海外子会社の店頭FXに係る収益が含まれる

販管費の四半期推移

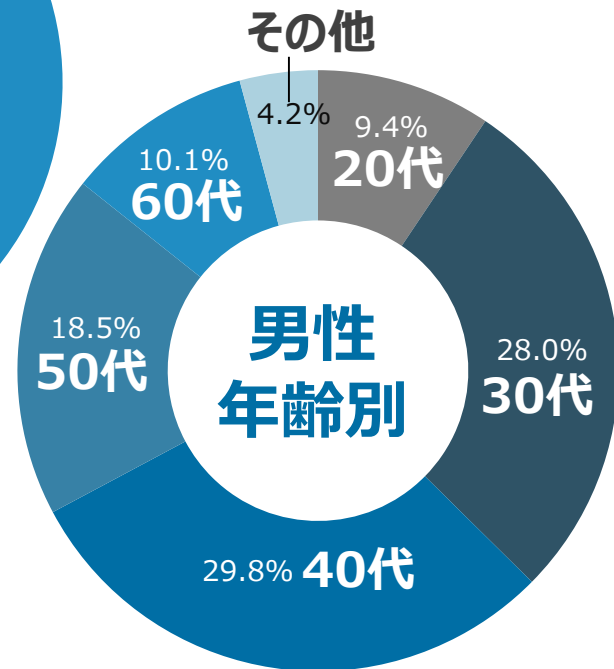
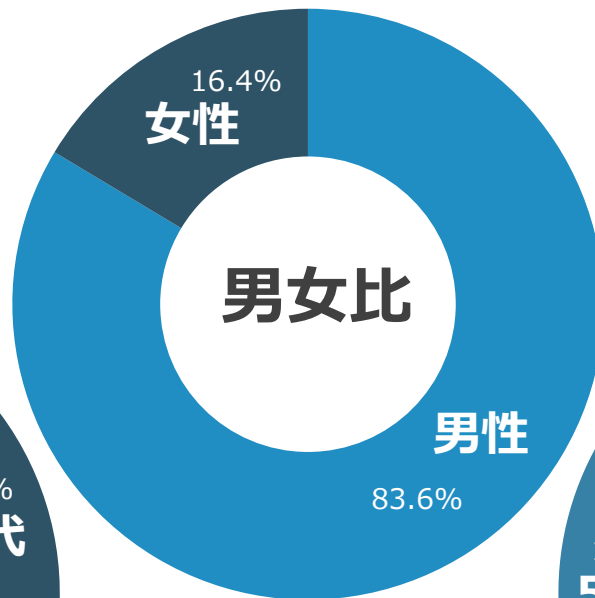
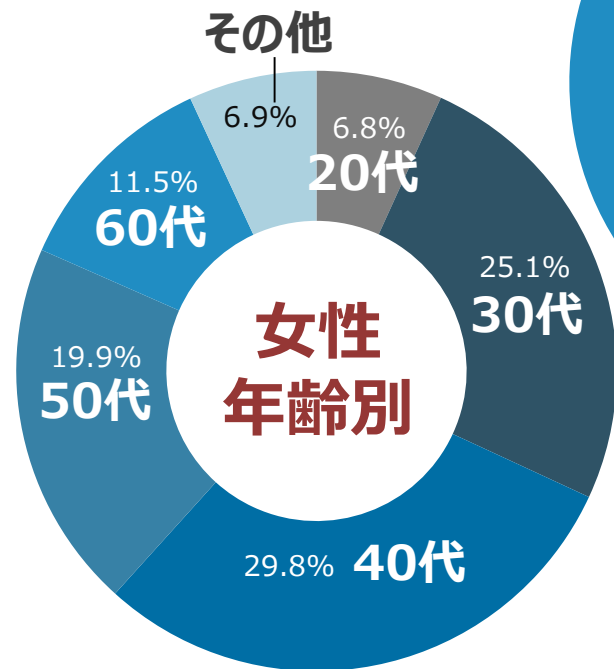
(単位：百万円)	17/3期				通期	17/12期	
	Q1	Q2	Q3	Q4		Q1	Q2
取引関係費	1,688	1,586	1,753	1,631	6,659	1,620	1,694
（内、広告宣伝費）	784	792	917	819	3,312	737	769
人件費	859	599	653	553	2,665	718	744
不動産関係費	642	584	604	626	2,457	604	610
事務費	502	481	636	585	2,206	578	567
減価償却費	204	217	207	192	822	164	186
租税公課	169	162	174	167	673	167	179
貸倒引当金繰入額	▲10	▲0	▲8	▲1	▲21	▲1	1
その他	70	39	42	29	181	38	25
販売費及び一般管理費	4,127	3,670	4,063	3,785	15,645	3,891	4,009

FX専用取引口座



※2017年9月末日現在

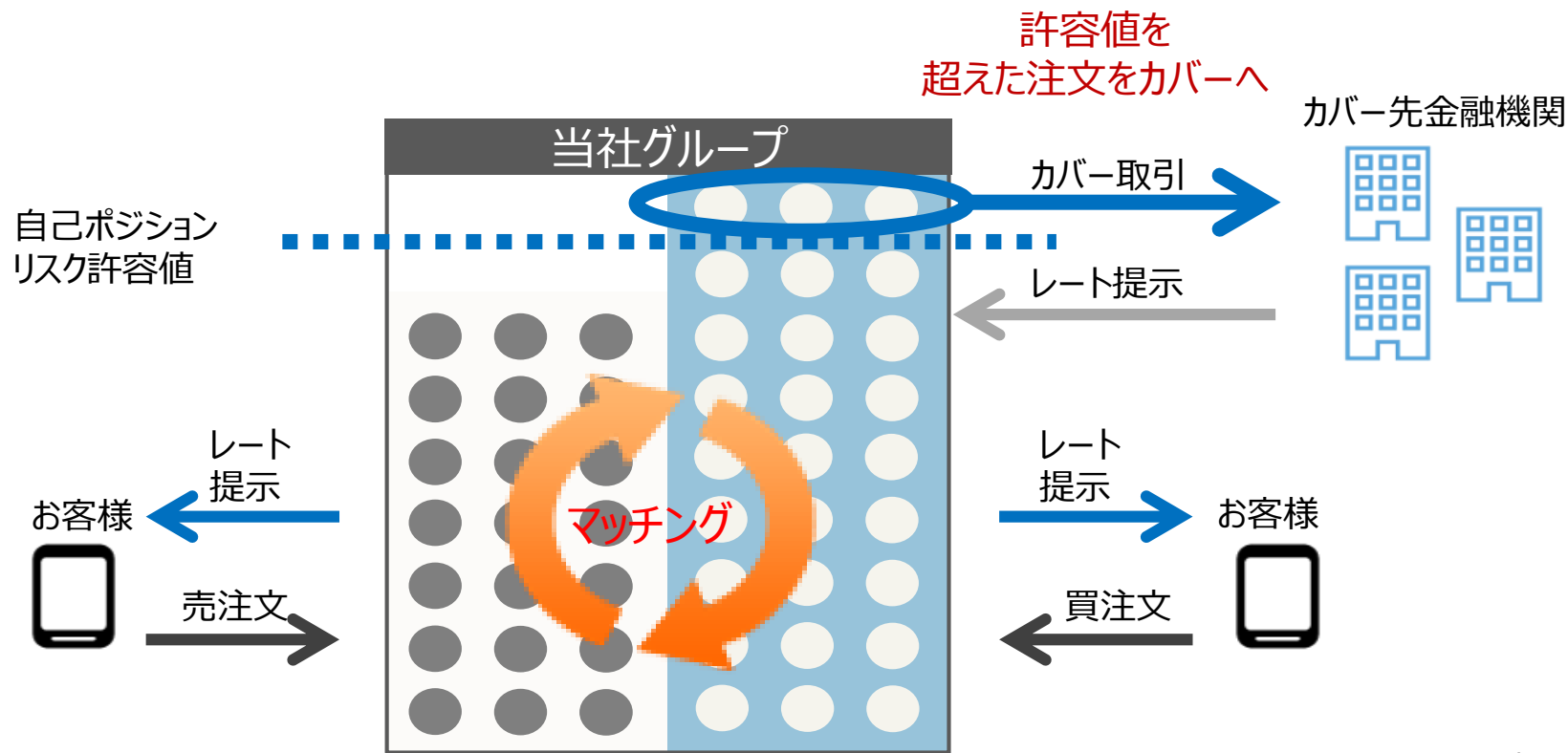
証券取引口座



※2017年9月末日現在

ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

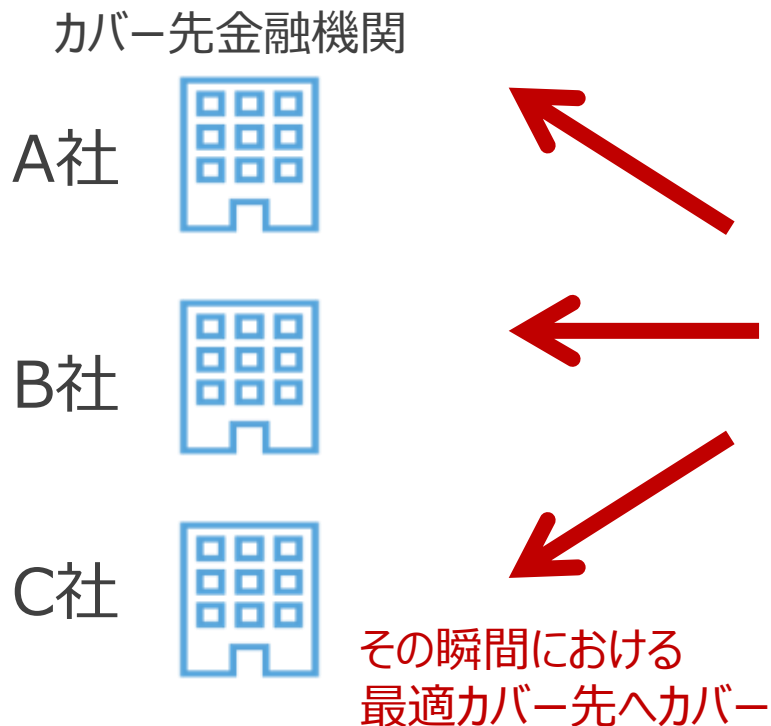
効率的なマッチングと徹底したリスク管理を追求



(上記は概念図)

ビジネスモデル（店頭デリバティブ取引）

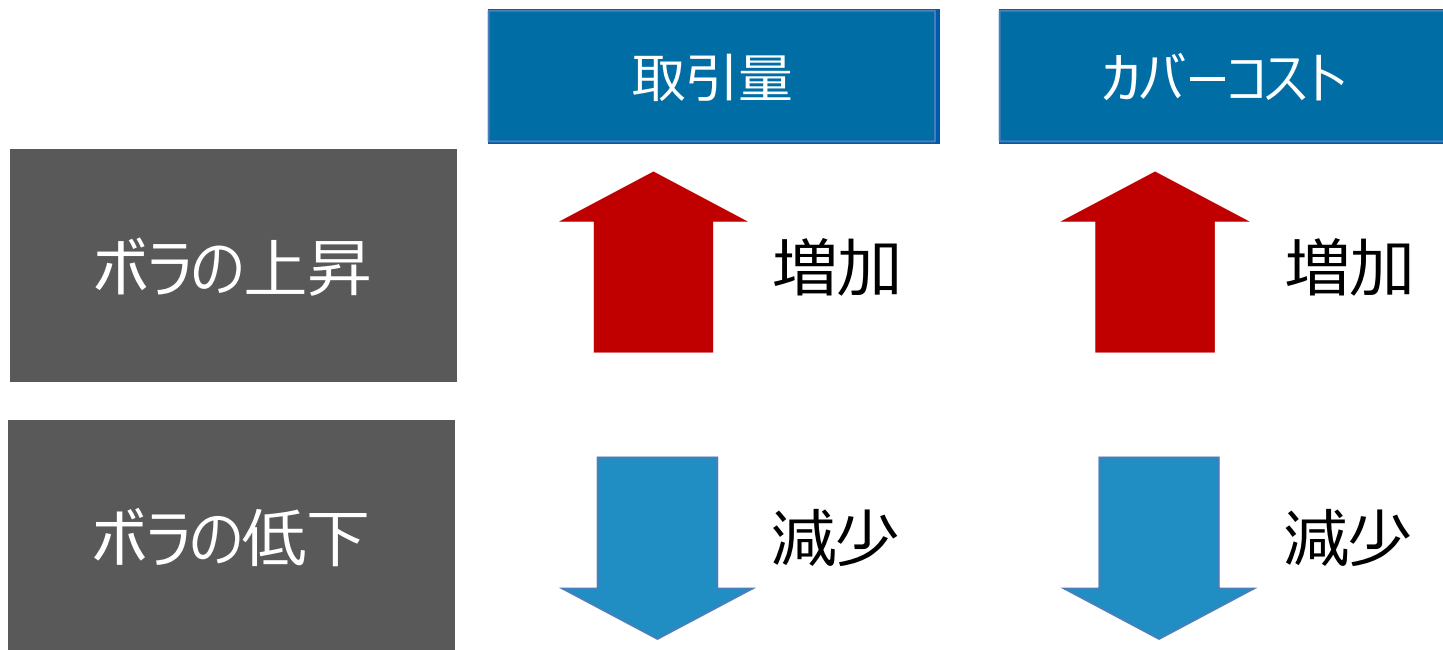
細かなチューニングによりカバー取引を最適化



（上記は概念図）

収益
構造

$$\text{対顧客取引} \quad \text{カバ-取引} \\ (\text{対顧客スプレッド} \times \text{取引数量}) - (\text{カバ-スプレッド} \times \text{カバ-数量})$$



(上記は概念図)

免責事項

本資料には、2017年10月25日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。

また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。